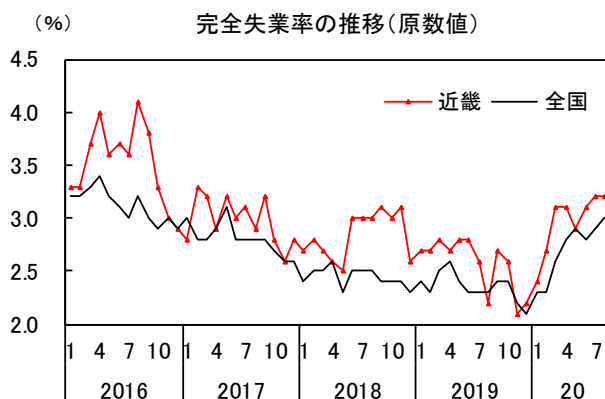
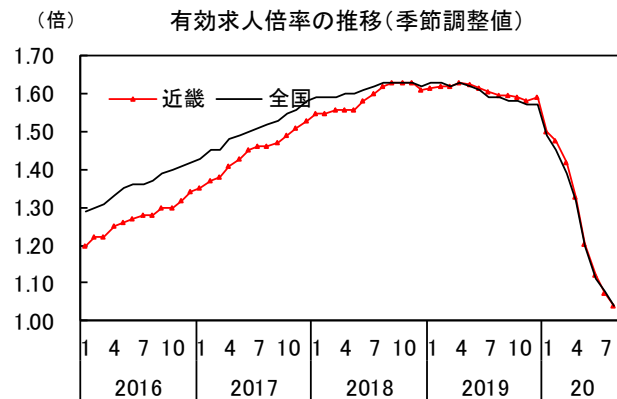


関西の景気トピックス【雇用関連（20年08月）】

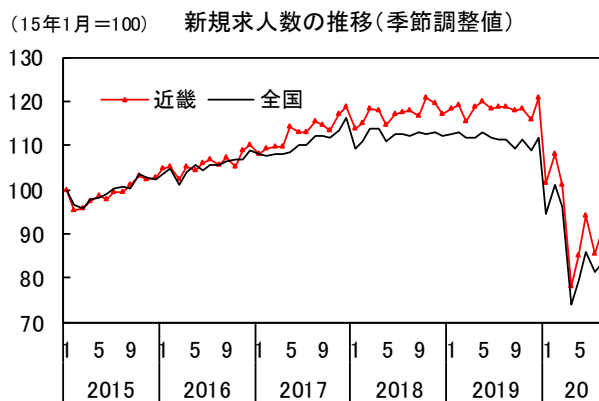
- 20年8月の労働力調査（総務省）によると、近畿の完全失業率は3.2%（原数値）と、前年比で1.0ポイントの上昇となった。前年を上回るのは6か月連続。変化の内訳は、就業者数が前年比で20万人の減少となったほか、失業者は10万人の増加、非労働力人口は9万人の増加となった。失業者が前年比で2ケタ増となるのは、2010年2月以来。
- 一方、近畿の有効求人倍率（厚生労働省）は、20年6月は1.04倍（季節調整値）と前月比で0.03ポイント低下した。有効求職者の大幅な増加が、求人倍率の低下につながっている。
- 近畿の失業率、有効求人倍率ともに、前年や前月比での悪化が続いている。今後も新型コロナウイルスの影響が続く中、失業者や求職者の増加に加え、賃金の低下についても注意が必要となろう。



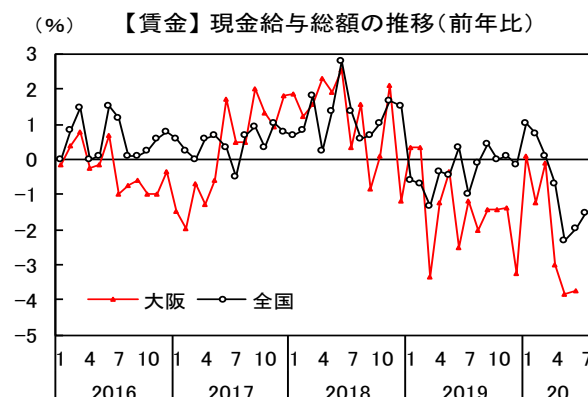
(出所)総務省「労働力調査」



(出所)厚生労働省「職業安定業務統計」



(出所)厚生労働省「職業安定業務統計」



(出所)厚生労働省「毎月勤労統計調査」